

**国民体育大会参加に係る  
提出書類参加・宿泊申込について**

公益財団法人鳥取県スポーツ協会

## 【目次】

- 1 提出方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 提出書類について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- 3 参加申込システム入力時の注意事項・・・・・・・・ 3
- 4 宿泊について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5 派遣費日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 6 各種様式・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～

## 1 提出方法について

提出方法一覧

関係書類名		データ提出	郵送提出	備考
様式 1	監督・選手推薦書	○	○	
様式 2	派遣旅費振込依頼書	×	○	捺印あり
様式 3	派遣期間記入用紙	○	○	
様式 4	記者発表用資料	○	○	
様式 5	監督・選手選考資料	○	○	
様式 6	帯同トレーナー推薦書	×	○	捺印あり
様式 7	国体参加復命書	○	○	

※提出期限については、別紙 1「国民体育大会参加に係る書類・システムの締切日一覧」を確認してください。

## 2 提出書類について

### 【様式 1】監督・選手推薦書

①この推薦書を元に、選手選考委員会・派遣依頼文・記者発表・参加申込等の手続きを行う大事な資料になりますので、正確に記入漏れのないようにお願いします。

②推薦書には、派遣監督・選手・帯同トレーナー以外は記入をしないでください。

③「種別」・「種目」については、実施要項に定められた正式名称で記入してください。

④「氏名」記入の際はふりがなを正確に記入してください。

⑤「生年月日」は西暦で記入してください。（青色の上に記入をしてください。）

⑥「学年・年齢」には、学生（中・高・大学生）のみ学年を記入してください。

⑦「勤務先・学校」は、正式名称で記入してください。

※ 1 県立・市立学校は鳥取県立・〇〇市立から記入してください。

（私学は学校名から記入してください。）

※ 2 学校に勤務をされている方は、学校名の後に教員の場合（教）、職員の場合は（職）と記入してください。

⑧「所属長職名」には、派遣文書を発送する所属先の所属長職名を記入してください。

（例：校長、社長、室長、工場長、支店長、学長、総務課総務係長等）

「所属長名」は「所属長職名」に該当する方の名前を記入してください。

※所属長名の記入がない場合は、所属長様で派遣依頼文を作成いたします。

⑨「最寄り駅」には、現住所最寄り駅を記入してください。

※移動日当日に現住所以外から出発の場合は本会にご相談ください。

⑩所属長宛派遣文書が必要な場合は要に○をつけてください。必要がない場合は不要に○をつけてください。※所属長宛派遣文書が不要な場合でも本人宛派遣文書は送付を致します。

国体出場により、会社や学校を休むことになりますので、参加される監督・選手・帯同トレーナーの所属長宛に、派遣をお願いしております。記載責任者の方は、参加される方に調査をしていただき、間違いなく確実に依頼文が届くよう**正確に所属先・所属長職名・所属長名**の記入をお願いいたします。

## 【様式 2】派遣旅費振込依頼書

- ・「様式 1」によって計算した派遣旅費を、代理受領者の口座へ振り込むための用紙になります。種別ごとの振り込みを希望される場合は、種別ごとに提出をしてください。複数種別の旅費を一括で同一口座に希望する場合は、希望種別名を記入して提出してください。

## 【様式 3】派遣期間記入用紙

- ①派遣依頼文、旅費計算の資料になります。所属長へは本用紙に記入してあるとおりの日数で派遣依頼を行います。
- ②派遣期間は原則として、公式練習日前日または試合開始 2 日前から、試合終了日（自県）までとします。（開催地が遠方の場合はこの限りではありません。）

## 【様式 4】記者発表用資料

- ・大会前の記者発表の資料になります。話題性のある事項を記入してください。

## 【様式 5】監督・選手選考資料

- ・国体選手選考委員会の資料となるものです。出場選手の推薦事由を記入してください。その他、県予選・選考会の結果等（標準記録等、選抜した際の資料）も併せて提出してください。  
※ストレート競技、またはストレート種別・種目のみ提出してください。

## 【様式 6】帯同トレーナー推薦書

- ・帯同トレーナー派遣を希望される競技団体は、推薦事由書（事前）とトレーナー復命書（事後）を必ず提出してください。また、推薦できるのは、推薦理由として挙げられている 3 項目のみとなります。（推薦理由 3 の「受講中の者」とは、実際に認定講習会に 1 回以上受講しており、今後資格取得のため受講する人のことを指します。）

## 【様式 7】国体参加復命書

- ・大会終了後 2 週間以内に提出をしてください。種別ごとに 1 枚の提出とします。

### 3 参加申込システム入力時の注意事項

①インターネットを利用した『国民体育大会参加申込システム』からの申し込みになります。

参加申込システムログイン WEB ページ 【 <https://jspo-entry.japan-sports.or.jp/> 】

本会 HP 【 <http://www.sports-tottori.com/> 】

※参加申込システムにアクセスする前に SSL-VPN（暗号化装置）に接続する必要があります。

詳細手順は、本会 HP 内【 国民体育大会新申込システムについて 】をご参照ください。

②入力時のユーザーID・パスワードは、別紙2「競技団体別国民体育大会参加申込システムアカウント一覧」をご確認ください。

③申し込みの際は、最初に「ふるさと選手登録」を行ってください。

※最初に行わないと、ふるさと選手の申し込みが出来ません。

※一度「ふるさと登録」をすると、登録県の変更が出来なくなりますので、本人に確認後、確実に許可を得てから登録をお願いします。

※ふるさと選手（特に大学生）については、居住県・勤務地県での県予選会に参加をしていると、二重参加で資格違反となりますので、他県で予選会に参加していないかを確認してください。

④監督を申込む際は、**保有公認資格登録番号（数字7ケタ）が必要**になりますので、本人に確認後、正確に入力してください。

※監督の公認指導者資格番号については、7桁で入力をしてください。5桁の場合は7桁になるよう、前に0を入力してください。（例：1 2 3 4の場合は、0 0 0 1 2 3 4）

※2021年10月1日付け資格更新予定者については、更新手続き（振込）を確実に済ませてください。

※「公認スポーツ指導者管理システム」のマイページで資格が有効な状態であることを確認してください。 【 <https://my.japan-sports.or.jp/admin/login.html> 】

⑤入力が終了した際は、すべての種別・種目ごとで、「申込チェック」を行ってください。すべての種別・種目で不備がないことが確認できると「確定」ボタンが押せるようになります。

※出場のない種別・種目のページがある場合は、「この申込書を使用しない」ボタンを押してください。

⑥参加申込の完了（受理）については、各県競技団体→本会の順で申込みを行い、日本スポーツ協会・中央競技団体・開催都道府県が承認をした時点で申込みが完了となります。

（詳しくは別紙3「国体参加に係るフロー図」をご覧ください。）

## 4 宿泊について

①宿泊申込はインターネットでの申し込みになります。三重国体宿泊申込 WEB ページよりログインができます。三重国体宿泊申込 WEB ページ【 <https://www.tokowaka-stay.jp/> 】

②ログイン ID、パスワードについては、別添 1 「各都道府県競技団体 ID 票」を確認してください。

③配宿決定時期については、下記のとおりです。配宿決定後に変更・取消等が可能になりますので、申込ページよりご確認ください。

※配宿決定の時期	会期前競技	8月19日（木）12：00から
	柔道競技	8月30日（月）12：00から
	本会期競技	9月10日（金）12：00から

④変更・取り消しによるキャンセル料は、原則自己負担になります。

⑤例年、キャンセルの多さが問題になっていますので、申し込みの際は、実際の人数及び宿泊日数をご確認の上、なるべく実人数に近づけて申し込みを行ってください。

⑥各競技中のお弁当については、宿泊申込 WEB ページでご確認ください。

⑦選手・監督の競技敗退後（負け帰り特例）または荒天による競技中止の際の特例について、下記のとおり変更となっておりますので、ご注意ください。

宿泊取消しの申出区分	茨城国体宿泊取消料	三重国体宿泊取消料
敗退日当日または競技会期短縮決定日 当日の取消し	50%	100%
敗退日翌日以降または競技会期短縮決 定日の翌日以降の宿泊の取消し	不要	不要

## 5 派遣費について

①旅費の計算方法については、出発地最寄り駅（現住所最寄り駅）から算出。

※移動日当日に現住所以外から出発する場合は、本会にご相談ください。

②旅費については、競技開始2日前もしくは公式練習日の前日から試合終了日（自県）までを基準とし、各競技団体から申請のあった日数分で宿泊費を計算しています。

※宿泊日数の変更等があった場合は、精算時に返金をお願いします。

※配宿先以外で宿泊等のイレギュラーが発生する場合は、発生した時点で本会にご相談ください。

③競技敗退日以降（競技敗退日含む）の宿泊については、原則自己負担になります。

※ただし試合終了時間等により帰鳥が困難な場合はこの限りではありません。

④競技敗退日の宿泊キャンセル料については、派遣費から支払いを行ってください。

※自己都合で発生するキャンセル料については全て自己負担になります

⑤運賃（往復）については学生割引・国体割引が使用できるので8割支給。

⑥特急利用料金（往復）については全額支給。

⑦昼食料は泊数分プラス1日分を支給。

⑧帯同トレーナーの旅費・宿泊費は各競技の派遣費に含めております。ご確認ください。

⑨大会参加負担金については、少年種別選手2,000円、その他の監督・選手4,000円を本会が負担いたします。

※国体傷害補償制度の保険料については、例年通り後日競技団体に請求（1人1,000円）をさせていただきます。

⑩精算関係書類は大会終了後、すみやかに提出してください。

〔派遣期間変更なしの場合〕 精算書、請求書を提出。

〔派遣期間変更で返納ありの場合〕 精算書、請求書を提出。返納金を指定口座へ振込。  
(振込手数料を差し引いて振込み。)